

# 60歳以上のアマチュア劇団かんじゅく座 第12回公演「みのりの畑」

第66号 2018年6月4日発行

## ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や  
ご要望に応えるコンシェルジュがいる  
ように、保育においても様々な  
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=  
ミマモルジュとして、保育に関する  
ご要望にお応えしていけるよう  
活動していきます。

株式会社ガヤ 奥山卓矢

## かんじゅく座第12回公演「みのりの畑」

今年はトマト畑が舞台です。中学生のみのりが、息苦しい家族から解放されるために家を飛び出します。

向かったのはおばあちゃんと伯父さんが住むトマト農園。  
しかし、ひさしぶりに会う伯父さんは、すっかりやつれ、おばあちゃんも認知症になってしまっているようです。

トマトの味さえ忘れていたみのりが、たくさんの出会いを体験する  
ひと夏の物語。(かんじゅく座HPより)

今年も横浜にあるY保育園の園長から今年も劇の招待を頂きました。  
舞台名は、澤はま児。

普段は保育園の園長として働きながら公演に向け今年も日夜練習に  
励まれていたそうです。

かんじゅく座は60歳以上の方々のアマチュア劇団です。

トップページ

かんじゅく座とは

公演記録



横浜毎日誌

グッズ販売

お問い合わせ



[かんじゅく座オフィシャルサイト](#)



今年の演目『みみのりの畑』

## 公演を観終えて感じること

昨年までは朗読劇の出演をされていましたが、今年は芝居に出演された澤はま見さん。

「学生時代以来の久しぶりの芝居で、悪戦苦闘でした、ほんと！初日の前日に、最大のダメ出しをされ、地に落ちていました…

もちろん芝居を作ってきた長い道のりでもさんざん、ダメ出しをされていたのですが、ここまでやられるのは、60数年の人生においてもそれほどないかな…ぐらいでした。

何とか乗り切りましたが、やればやるほど深い世界です。どこの世界もそうでしょうか。

これからもこの体験を仕事に、生活に活かしていきたいと思います。」と公演後、澤はま見は仰っていました。

今回で3回の公演を観させて頂きましたが、いつも明るい園長先生から、上記のお話を公演後に聞くとはい思もありませんでした。

長台詞も多く、それを覚えて、舞台上で演じる。それは、きっと自分が思っている以上に大変なことで、それを毎年挑戦し続けていることにいくつになっても挑戦できる！そう先生が舞台を通して自分に教えてくれているようにさえ思います。

澤はま見さんが舞台に立ち続ける限り、これからも応援していきたいといつの間にかファンの一人になっていることに気が付きました。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)

### ●過去のバックナンバー

#### 第63号

日本家屋から保育を考える①

#### 第64号

日本家屋から保育を考える②

#### 第65号

子どもに伝えていきたい暮らしの智慧

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>

 **caguya**

〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、  
QRコードからお願いします。